

◎総合計画審議会委員からの後期基本計画(素案)に対する意見等一覧

資料2

No.	頁	行	意見提出者	項目	各委員からの意見等	市としての考え
1	2	全般	長澤利枝 委員	【第1編 後期基本計画の策定にあたって】 第1章 計画の策定趣旨	●策定趣旨の説明文が長い。説明で削れるところを検討。	●可能な限り整理します。
2	2	全般	長谷川和子 委員	第1章 計画の策定趣旨	●P2～8と完璧な説明文ですが、長い文を読むのは、理解に苦しむ。頭の中で整理するのに大変。もっと簡潔に要点だけにしぼったほうがよい。	●可能な限り整理します。
3	3	146～ 148	長澤利枝 委員	第2章 計画の構成と期間 3 南相馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係	●「後期基本計画では、人口減少の対応は重要な課題の一つと位置づけて取り組むことから、市総合戦略については後期基本計画に包含し、創生法第10条に基づく計画としての性格を有することとします。」の意味が読み取れない。	●2つの計画を1つの計画にするものです。
4	4	152	佐久間光弘 委員	第2章 計画の構成と期間 4 行政評価(施策評価)による後期基本計画の進行管理	●KPIの意味を説明する。	●用語説明を追記します。
5	4	151～ 155	長澤利枝 委員	第2章 計画の構成と期間 4 行政評価(施策評価)による後期基本計画の進行管理	●施策評価は、計画実行の指針になる重要なものである。行政サイドのみの指標にせず、市民に「見える化」としての方策を挿入していただきたい。	●表記内容を精査のうえ反映予定です。 なお、公正な行政評価を実施し、その結果を公表していきます。
6	5	158～	佐久間光弘 委員	第3章 時代の潮流	●第3章は時代の潮流なので、わざわざ語尾に〇〇時代とつけなくて良いと思う。 少子時代は少子化、超高齢時代は超高齢化ではないか ※P7では時代を使っていない。	●ご意見として賜ります。

No.	頁	行	意見提出者	項目	各委員からの意見等	市としての考え
7	14	393～418	草野繁春 委員	【第2編 後期基本計画】 第1章 政策目標と政策の柱 1 政策目標	<ul style="list-style-type: none"> ●各地区の地域特性を活用した目標・テーマが必要ではないか。 原町区：ロボット産業創生地区 鹿島区：障がい者福祉創生地区 小高区：教育と文化創生地区 ●後期基本計画(素案)について、各地区への対応の違いが必要かと思います。 	●ご意見として賜ります。
8	14	401～418	長澤利枝 委員	第1章 政策目標と政策の柱 1 政策目標	<ul style="list-style-type: none"> ●【100年のまちづくり ～家族や友人とともに暮らし続けるために～】市長公約ですが、これを具現化するには、卓越した政策が求められます。総合計画にありがちなすべてを網羅する構想では、実現が困難と思います。 周囲の家族の子どもたちは例外なく県外です。この現実直面する中で、かつてのように三世代の家族が暮らせる打出の小槌があるのでしょうか。結婚しない若者が多い現実と相まって何を私たち市民はするのか・・・行政の政策で進捗するのか・・・審議会に出席しながら自問自答しています。 ●401～418P 上記に書きましたが、このような感想を市民は持っています。そのためには、この文章にもっと強い政策理念の根拠を示すべきと思います。 最初に、市長挨拶で書かれると思いますが、ここがキーワードです。 抽象論でなく何故今100年のまちづくりなのか～具体的な文言を入れ説得力を持つ文章にして頂きたいと願っています。 	●お質しのとおり、あいさつに記載予定です。
9	14	全般	長谷川和子 委員	第1章 政策目標と政策の柱	<ul style="list-style-type: none"> ●P14はP17を最初にもってきて、わかりやすい構造にし、その後P14にする。簡潔な説明文を添える。 例)1 教育・子育て (施策) ①豊かな心の育成 豊かな心を持った子どもにするために学校・家庭・地域が連携して日常生活の向上を図る。 ②教育水準の向上 意欲的に学習しようとする児童・生徒の育成 ③安心して学習できる教育環境の整備 	●ご意見を踏まえ、表記順を整理します。
10	15	434	佐久間光弘 委員	第1章 政策目標と政策の柱 2 政策の柱 【政策の柱2】 健康・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ●「環境づくりを推進するとともに、市民ひとり一人～」という表現が多くなる。 文章を分かりやすくするには、「〇〇とともに」は使わずに句読点で区切ってはどうか。 	●ご意見として賜ります。

No.	頁	行	意見提出者	項目	各委員からの意見等	市としての考え
11	15	433～441	長澤利枝委員	2 政策の柱 【政策の柱2】 健康・医療・福祉	●「南相馬市は震災関連死が2018年9月511人と多く、市民の心身のストレスは増加の傾向にある。早期発見、早期治療を促す環境づくりをする」を挿入。震災関連と言い切れない社会のゆがみでもある。	●表記内容を精査のうえ反映予定です。
12	15	443～452	長澤利枝委員	2 政策の柱 【政策の柱3】 産業・仕事づくり	●「60代以上で仕事に意欲を持った高齢者の働く場を提供します」を挿入していただきたい。	●表記内容を精査のうえ反映予定です。
13	16	455～564	長澤利枝委員	2 政策の柱 【政策の柱4】 都市基盤・環境・防災	●「津波や原発事故で失われた豊かな自然環境の再生に取り組みます」を挿入していただきたい。	●表記内容を精査のうえ反映予定です。
14	16	475～480	今西一男委員	3 後期基本計画における人口目標	●市の各種計画との整合性が取れているか確認されたい。(P86の計画など)	●各個別計画との整合は、今後、策定・改訂の時機に合わせて、後期基本計画との整合を図っていきます。
15	16	476～477	郡昌弘委員	3 後期基本計画における人口目標	●2023年の人口推計で51,957人(P9に記載)であることを明記したうえで、目標人口数を53,000人とすることを、この部分でも明記したほうがわかりやすいと思う。	●ご意見として賜ります。
16	17	481	今西一男委員	基本施策・施策<体系>	●色分けに意味はあるのか。	●政策の柱ごとに色分けする予定です。
17	19	全般	今西一男委員	第2章 復興重点戦略 第3章 重点戦略	●10月31日開催の審議会から、追加した、削除した主な取組方針が、何で、何故なのか説明していただきたい。	●P23以降の各個別施策の取組方針を精査したことにより、重点戦略の「主な取組方針」を追加・削除しました。
18	19	523～539	草野繁春委員	復興重点戦略2 ロボットテストフィールドを核とした新産業創出と人材誘導	●ロボットテストフィールドを活用した観光交流促進。 ●原町区だけではなく、鹿島区・小高区への活用も必要。	●P53⑰「通年観光の推進」に記載のある、「海資源やロボットテストフィールド等を組み入れた新たな観光ルートを創設します」に含まれます。
19	20	564～578	郡昌弘委員	重点戦略2 多様な人材が活躍するまち	●本文に「若者、女性、高齢者～」とありますが、主な取組方針には、高齢者について触れていません。「高齢者雇用の推進」のような高齢者にも配慮した方針を追加すべきだと思います。	●表記内容を精査のうえ反映予定です。
20	22	全般	長谷川和子委員	基本構想と後期基本計画の全体像	●「4つの基本目標」、「6つのまちづくり基本指針」、「5つの政策の柱」等、あまりにも「基本」がありすぎて混乱します。	復興総合計画は、市の未来のあるべき姿と方向性を示した総合的かつ基本的な指針とである最上位計画です。このため、「基本」という表現を多く含んでおります。

No.	頁	行	意見提出者	項目	各委員からの意見等	市としての考え
21	24	684～694	長谷川和子 委員	【政策の柱1】教育・子育て (1)学校教育 ①豊かな心の育成	●豊かな人間関係の育成を推進します。 ※望ましい親子関係、学校での友達関係、国際交流を通しての外国人との関係等、幅広い人間関係等を築き上げるという趣旨。	●表記内容を精査のうえ反映予定です。
22	24	685～694	今野秀幸 委員	(1) 学校教育 ①豊かな心の育成	●いじめ問題、ICT: SNSに関連して、「情報モラル」教育の実施に関する内容を記載すべきではないか。	●「いじめ問題への積極的な対応」に含まれると考えます。
23	24	685～694	今野秀幸 委員	(1) 学校教育 ①豊かな心の育成	●自然体験や職場体験など、体験学習・活動への支援の追加。	●表記内容を精査のうえ反映予定です。
24	25	695～715	長谷川和子 委員	(1) 学校教育 ②教育水準の向上	●小学校英語教育のための教員確保と研修を推進します。	●「教育指導体制を充実します」に含まれると考えます。
25	25	696～704	今野秀幸 委員	(1) 学校教育 ②教育水準の向上	●ICTを活用した教育推進の継続。 ●オンライン学習やデジタルコンテンツを活用した教育プログラムを導入し、家庭環境や所得に関わらず子どもに学ぶ環境を与える。	取組方針 ●「地域性を生かした魅力ある教育環境づくり」に含まれると考えます。 主な取組 ●「プログラミングや英語教育など教育カリキュラムの編成」に含まれると考えます。
26	25	718～730	今野秀幸 委員	(1)学校教育 ③安全な学校環境の整備 ※(3)生涯学習・スポーツ (14)コミュニティにも関連	●「学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進します」の取組事項として、「コミュニティスクールの励行」を加えるべき。 ※コミュニティスクール(地域住民が学校運営に参画できるようにする。仕組むや考え方を有する形態の学校のこと)	●ご意見として賜ります。
27	32	905	佐久間光弘 委員	(3)生涯学習・スポーツ ⑨スポーツの振興	●「計画的なスポーツ施設の整備や改修、備品の配備・更新」に、ぜひ外のトイレの改善を考えてみてはどうか。スクワット型トイレが多すぎ、恥ずかしい(他と比べて)。	●主な取組のうち、「計画的なスポーツ施設の整備や改修、備品の配備・更新」に含まれます。

No.	頁	行	意見提出者	項目	各委員からの意見等	市としての考え
28	41	1130～1142	長谷川和子委員	【政策の柱2】健康・医療・福祉 (6)福祉・介護 ⑮地域福祉の向上	●「民生委員の負担軽減を図ります」は、民生委員・児童委員が正しい。	●表記内容を精査のうえ反映予定です。
29	41	1147～1156	星直子委員	(6)福祉・介護 ⑯介護予防と高齢者福祉の向上	●高齢者の生きがいづくりやサロン活動等で、元気高齢者によるボランティア活動への参加等、支援の担い手としての活動による生きがいづくり等の視点はいかがなものでしょうか。	●お質しの視点は、取組方針に記載のある「いきがいづくり」に包含しています。
30	42	1162～1177	草野繁春委員	(6)福祉・介護 ⑰障がい児・者福祉の向上	●鹿島区寺内に自立支援学校が2020年に開校します。それに向けての通学路・環境整備。	●P67④交通安全の推進の「取組方針」、「歩行者の安全確保のため、特に学校周辺の道路整備を推進します」に含まれると考えます
31	45	265～278	今野秀幸委員	【政策の柱3】産業・仕事づくり (7)農林水産業 ⑳担い手の育成・確保	●被災地域への「営農再開への支援」に関する記述を加えるべき。 ●農業人口確保のため(年齢を問わず)「新規就農者への支援」を取組に追加すべき。	●表記内容を精査のうえ反映予定です。
32	50	1385～1398	郡昌弘委員	(8)商工業 ㉕多様な人材の育成と誘導	●多様な人材の育成と誘導の中には、P20にあるように、「若者、女性、高齢者や障がい者…」が含まれると思います。 ●この、「主な取組」の項目にも、高齢者や障がい者に対する取組も追加すべきと思います。 例)「高齢者が働きやすい環境整備支援」「障がい者が働きやすい環境整備支援」	●表記内容を精査のうえ反映予定です。
33	50	1385～1398	長谷川和子委員	(8)商工業 ㉕多様な人材の育成と誘導	●外国人材受け入れの支援がされていないので、早急に対応する必要がある。	●「事業所の外国人材受け入れの支援と地域の受け入れ環境の整備を推進します」を記載しております。
34	53	1450～1471	長谷川和子委員	(9)観光交流 ㉟通年観光の推進	●観光協会や国際交流協会との連携を強化します。 ※P54「交流人口・関係人口の拡大」の取組方針に記載はあるから必要ないかもしれない。	●P54「交流人口・関係人口の拡大」に記載があるため、原案のとおりとさせていただきます。
35	53	1451～1466	今野秀幸委員	(9)観光交流 ㉟通年観光の推進	●「南相馬市」のPRの強化。 ●PVなどがなく、他地域へのPRが出来ない。 「相馬野馬追」に特化したものや震災前のものばかりではなく、「南相馬市(震災後)」そのもののPR媒体物がない。	●「地域資源を生かした魅力発信・シティプロモーションに取り組みます」に含まれると考えます。

No.	頁	行	意見提出者	項目	各委員からの意見等	市としての考え
36	57	1552～1570	草野繁春委員	【政策の柱4】都市基盤・環境・防災 (10)都市基盤 ③⑩道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●鹿島区茂手岩妻線の整備の促進の記載が必要。 ●三地区で踏切を渡らないで市街地に行けないのは鹿島区だけ。 	●ご意見として賜ります。
37	58	1608～1624	今野秀幸委員	(10)都市基盤 ③⑩公共交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●交通弱者への対策の取組。 ●一般人が自家用車で送迎するライドシェア(自動車を相乗りすること:同乗者が謝礼として燃料代や高速代相当の費用を支払う非営利のサービス)の導入。 ●カーシェアリングなど持続可能な移動手段の検討。 	●ご意見として賜ります。
38	71	1917～1918	郡昌弘委員	【政策の柱5】地域活動・行財政 (14)コミュニティ ④⑩NPO・市民活動団体との協働	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の南相馬市市民活動サポートセンターの登録団体数は94団体です。関係部門との調整も必要と思いますが、2022年までの目標値として95団体は少ないと思います。 ●「取組方針」に対する「評価指数」として、南相馬市市民活動サポートセンターの登録団体数が適切なかどうか、検討が必要と感じました。 	●2017年度末の登録団体(91団体)から毎年度1団体純増を目指し目標値を設定しましたが、現時点で94団体であることから、目標値を見直します。
39	76	全般	今西一男委員	【資料編】 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ●設定した数値について、「何のために」ということが資料編から読み取れるか、よく確認されたい。 ●計画の推進、実現体制、方法を書くべき。 	●表記内容を精査のうえ反映予定です。